



平和堂グループの 中長期ビジョン・

中期経営計画 (第四次) 2021~2023年度

中長期ビジョン

「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指す

土台としての経営理念

① 人・人材育成 ② 筋肉質経営 ③ 平和堂グループが地域インフラになる 魅力あるショッピングセンターづくり

実現したい世界

人々が暮らしていく中で、その地域が住みやすく、健康的で活気があり、助け合いの精神が息づいている。そのため、高齢者にとっても不自由の少ない、将来を担うお子様にとっても伸び伸びと育ち、子育て苦勞が軽減されるような環境、雰囲気がある。地域の文化を大切に、環境保全の意識も高い。それらの状況は、活発な地域交流と心地よい人とのつながりがもたらす。

「地域になくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指します。

継続して成長していくためには、「地域が元気であること=活性化している地域経済」が前提であると考えます。地域の活性化を促進し、結果として平和堂の成長を実現します。

また、「地域の健康」に貢献するためには、地域生活の安全安心・活性化の取組みに対して高い信頼性を得ることが必要です。



事業基盤となるDXの推進と 行動基準となるサステナビリティの推進

平和堂DXの推進

事業基盤を支えるためにも、DX推進は重要と考えています。お客様への新しいお買い物体験の提供や、当社グループの生産性向上、データの利活用など、人と人、モノと人、コトと人をつないでいくことを目指していきます。

- お客様への新しいお買い物体験の提供
- 店舗、本部の生産性向上
～業務改革による省力化、省人化～
- データ利活用により新たな価値の発見
～データの収集・蓄積・加工/分析・活用～
- つなぐ ～人と人、モノと人、コトと人～

スマートフォンを活用したセルフレジシステム「ピピットセルフ」を順次導入

スマートフォンで商品バーコードを読み取り、金額を確認しながらお買い物が可能で、会計時のレジ待ちにご不便をお感じのお客様や、レジ係との接触機会の低減を望まれるなど、買い物の仕方の多様化やライフスタイルそのものが大きく変化する中で、新しい買い物体験の提供として開始しました。



サステナビリティの推進

世界では、地球温暖化に伴う気候変動によって、気象災害が多発化・激甚化しています。さらに、海洋プラスチックなど廃棄物による環境汚染も深刻化するなど、地球環境は危機的な状況に陥っています。また、環境以外でも、貧困や人権問題、高齢化、地域産業の後継者不足など多岐にわたる課題に直面しています。このような状況下で、企業においても持続可能な社会の実現に向け、社会的責任を積極的に果たすことが求められています。平和堂グループは「100年企業」を実現するために、すべての部署・グループにおいて、課題意識を持ち、サステナビリティに取り組みます。

詳しくは、 [P17~](#) をご参照ください